

令和4年度涌谷町教育委員会の活動状況の点検・評価報告書

涌谷町教育委員会

1 はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、本報告書を議会に提出いたします。

この報告書は法の規定に基づき、令和4年度涌谷町教育基本計画に掲げた学校教育及び社会教育の重点努力目標や重点施策への取組状況について、点検・評価を実施し、その結果をとりまとめたものです。

2 点検・評価の内容

(1) 評価項目

毎年度、当教育委員会が「重点施策」として掲げて取り組んでいる項目について、その取組及び達成度について評価することといたしました。

令和4年度の重点施策は次のとおりです。

学校教育部門

(幼稚園)

- ① 創意と活力に満ちた特色ある園経営
- ② 指導力向上のための研修の充実
- ③ 体力・運動能力の向上と健康・安全教育の推進
- ④ 幼児教育の充実と学ぶ土台作りの推進
- ⑤ 特別支援教育の推進

(小学校・中学校)

- ① 創意と活力に満ちた特色ある学校経営
- ② 指導力向上のための研修の充実
- ③ 小・中学校を通じた志教育の推進
- ④ 基礎学力の定着と活用する力の伸長
- ⑤ 感性豊かでたくましい心を育てる生徒指導の推進
- ⑥ 健康・安全教育の推進
- ⑦ 特別支援教育の推進

社会教育部門

① 生涯学習

- ・生涯学習の推進体制の確立
- ・学校と地域の協働教育の推進
- ・生涯学習施設の有効活用と整備
- ・生涯学習活動の促進

② 社会教育

- ・社会教育の推進
- ・まちづくり学習の充実

③ 青少年の健全育成

- ・青少年活動機会の充実
- ・青少年の自立の支援

④ 芸術文化

- ・芸術文化活動の推進
- ・鑑賞機会の充実

⑤ 歴史文化

- ・歴史文化の調査・研究と保存
- ・歴史文化を活用した地域イメージの確立

⑥ スポーツ施設等の整備

- ・スポーツ施設の整備充実

⑦ スポーツ活動等の推進

- ・競技スポーツの支援
- ・コミュニティスポーツの振興
- ・健康スポーツの普及

(2) 評価の方法

教育委員会が掲げた「重点施策」は、実際には、各学校、公民館等で推進されることになります。つまり、教育委員会は、学校等の取組の方向性を示し、学校等は、その実現に向けた実際の取組を行っているものです。そのようなことから学校教育分野においては、各学校（幼稚園・こども園を含む）の教職員全体による評価、また、社会教育分野においては、社会教育委員により重点施策への取組状況の評価を行ってもらうこととしました。

(3) 評価者

重点施策の取組、状況の評価する者は次のとおりです。

- ① 幼稚園・こども園の教職員（園長、副園長、主任教諭、教諭、フルタイム
会計年度任用職員）
- ② 小・中学校の教職員（校長、教頭、主幹教諭、教諭、養護教諭、事務職員
常勤講師）
- ③ 社会教育委員

(4) 評 価

評価は次の区分で行いました。

学校教育部門	社会教育部門
〈A〉 十分に満足できる 評点 4	〈A〉 十分に満足できる 評点 4
〈B〉 満足できる 評点 3	〈B〉 満足できる 評点 3
〈C〉 あまり満足できない 評点 2	〈C〉 あまり満足できない 評点 2
〈D〉 全く満足できない 評点 1	〈D〉 全く満足できない 評点 1

平均評点は、各評点×評価者数の合計を評価者総数で除したものです。これにより、平均評点 3 以上を目安としております。

【学校教育部門 幼保の評価結果の分析】

(1) 「創意と活力に満ちた特色ある園経営」に関して

園評価に基づき、各園毎の教育目標に近づける努力をしている姿勢が見られ、調査した 5 項目中 5 項目で評価点「3 以上」が 9 割以上となり、各園において園児の実態や保護者、地域の要望等を考慮し園の特色を生かした経営に取り組んでいることがうかがえる。

その中で、教育活動の中で「幼小間交流」に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響で十分に交流できなかった面もあり、他の項目に比べやや低い評価となった。

(2) 「指導力向上のための研修の充実」に関して

調査した 4 項目中全てにおいて評価平均が「3」を超え、「満足できる」レベルとなっている。

園の規模が小さく、教員数も少ない中、園児の指導には日ごろよりクラス担当

者だけでなく、全職員態勢で取り組む必要があり、教師自身の研修・研鑽は日常的に行われており、町立幼稚園教育研究会・研修会も含め共同した研究の取組などで指導力の向上に努めている。

(3) 「体力・運動能力の向上と健康・安全教育の推進」に関して

食や子どもの安全、施設の安全に関しては平均「3.6」以上であり、「満足できる」のレベルとなっており、特に災害時の安全確保に関しては、全ての園において毎月計画的に防災訓練等を実施するなど積極的に取り組んでいる。

幼児期の運動についても各園において施設を計画的に活用し、運動に取り組ませている。

幼児の肥満指導については「3.1」の評価となり「満足できる」ものとはなっているが、肥満防止について家庭と協力しながら食生活と運動面から取組を行っている。しかし、本町では肥満傾向は小・中学生や大人で顕著であるため幼児ばかりではなく、大人までを含めて町全体で肥満防止への取組を広め実施していくことが必要である。

(4) 「幼児教育の充実と学ぶ土台作り推進」に関して

一人一人の子どもの発達に応じた指導について、各園では支援体制や指導の工夫がなされており、「満足できる」とする評価となっている。

今年度も家庭教育学級がコロナによる影響で、保護者が一堂に会して学ぶ家庭教育の機会が十分に持てなかった。これまでは生涯学習課との連携事業であったが、今後は保護者とのニーズに応じた代わりとなる事業を各園独自で検討していく必要があると考える。

(5) 「特別支援教育の推進」に関して

全体で見ると、評価者の半数以上が「3以上」の「満足できる」と評価しており、園では特別な配慮を必要とする子どもに対する支援は行われている。しかし最近では支援の必要な子どもが増加しており、限られた職員数では十分な対応が難しいケースが報告されているため、子育て支援室や小学校と連携を図りながら早期の段階から関係機関とのつながりを持ち、保護者に対しても相談の窓口を設け、早期の段階から多様な選択肢を示し望ましい対応を共に考えていくことが必要である。

【学校教育部門 小・中学校の評価結果の分析】

(1) 「創意と活力に満ちた特色ある学校経営」に関して

各学校では児童生徒や地域の実態を踏まえ、教員や保護者の協力を得ながら創意ある教育活動が行われており、その指導効果が徐々に現れ各項目において「3.0」を超え、各項目別に見ても半数以上が「満足できる」と評される。

その中で、幼小交流、小中交流について、コロナの感染状況を見極めながら以前よりは増えてきているがまだ完全に戻っていない。今後はコロナが5類に移行されることで、児童生徒の交流のみならず教職員が他校を訪問し、授業の見学や交流を重ねることで活性化が期待できる。

(2) 「指導力向上のための研修の充実」に関して

各種研修に関しては、教育に関する最新情報の提供を始めとした、学校への支援を可能な限り実施している。学校現場でも児童生徒の実態を踏まえて指導に力を入れて取り組んでいる。特に本年度から県総合教育センターと「市町村教育委員会との連携による学校サポート事業」が始まり、評価が「3.4以上」の項目が3項目となった。

ただし、全国学力・学習状況調査についてやや低い「3.1」となっている。これは、コロナ感染への対応で十分にに取り組むことができなかったことに加え、「対話的な学び」がいまだ難しい状況が続いていることが理由となっている。これから求められる学習の在り方は、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の両輪が一体的に充実し、「深い学び」に結びつけることが重要となっている。更に校内研修の充実を目指すよう促していきたい。

(3) 「小・中学校を通じた志教育の推進」に関して

各学校においては教育計画に「志教育」の項目を設定し、各教科や学校行事に志教育を結びつけた取組が行われており、全体として「3.3」と満足できるとする評価となっている。

ただし、異校種間で連携した志教育については、継続した学びが十分でないと感じる部分もあるので、今後も小・中学校の連携を通じキャリアパスポート活用充実を踏まえ、校種間の連携を高めていくことが求められる。

(4) 「基礎学力の定着と活用する力の伸長」に関して

指導力を向上させるための校内研究等は各校において年間指導計画に位置付けられ、学習の形態や少人数指導などの指導方法を工夫している様子が見られ、全体として「3. 3」と満足できる評価となっている。

評価者の多くは概ね良い評価を行っている。その成果は少しずつではあるが、各種検査等で成果が現れている。しかし、まだまだ『努力が必要』の段階にあると分析しており、児童生徒の実態を踏まえた指導の工夫と家庭学習の充実を目指す必要がある。家庭での児童生徒の過ごし方について、ゲームやテレビ視聴の時間が他地区と比べて長い実態から、読書習慣の形成等家庭との連携も踏まえた学力向上対策を講じる必要がある。

(5) 「感性豊かでたくましい心を育てる生徒指導の推進」に関して

スクールカウンセラー（SC）やスクールソーシャルワーカー（SSW）の活用を充実させ、専門職員を定期的に、また必要に応じて派遣している。家庭の問題や心の問題においては町子育て支援室と情報交換を密にし保護者や学校に助言を行い、教職員を対象として研修会を実施してきた。こうした面で生徒指導や学校不適応への対応について「3. 3」以上となっている。

いじめや不登校問題が全国的に問題となっており、いじめについては本町においても件数はわずかではあるものの皆無ではない。また、いじめには至らないが嫌な思いをさせられている児童生徒も多くいると思われる。

学校間、関係機関、PTA等との連携の項目においてやや低い評価となっているが、他の項目同様コロナ対応を行う中、このような学校外との連携がまだ以前のようにまで戻っていないことが原因と考えられる。授業や行事などあらゆる教育の場を通して、子ども達が豊かな心を持ち、たくましく生きていくための指導をさらに続けて取り組む必要がある。

(6) 「健康・安全教育の推進」に関して

健康への意識向上については学校現場の努力により教育活動や学校だより等で家庭への啓発が進められ、全体として「3. 3」と「満足できる」は維持しているものの、『肥満』と『体力向上』の項目においては努力の余地があると見ている。そのため小学校や中学校だけでなく、町全体での肥満対策や小学生から参加

できるスポーツ活動などの啓発や、指導等の取組が求められる。

令和4年度も、通学時の安全確保に向けた取り組み、事故防止のための活動の項目に「3. 5」の評価が多く見られた。学校での安全と事故防止は効を奏し、児童生徒の大きな交通事故は発生していないが、更に安全指導と対策を充実していくことが大切である。

「安全教育」に関しては、震災の経験に基づいた指導がなされ、また、各校の防災マニュアルが整備され、評価が「3. 4以上」となっており、防災や安全に対する意識は高まっていると見られる。

運動習慣については宮城県・全国体力運動能力調査の結果から、本町の小学生における運動量と小・中学生の運動能力が全国や県の平均を大幅に下回る結果が示された。これを踏まえ、学校での体育の授業の充実や日常の活動、休憩時間・放課後の一定時間に体を動かす取組を行うなど改善に向けた実践が求められる。

(7) 「特別支援教育の推進」に関して

特別支援学級の児童生徒に対する理解はなされ、各学校では校内体制を整備し、適切な個別の支援が行われており、「3. 3以上」で「満足できる」評価である。

しかし、通常学級には特別支援に該当しないが支援を必要とする児童生徒が少なからず在籍しており、しかも個別の支援も多種多様であり、個別の対応は学校により非常に難しいところがある。組織的な対応と研修の充実を進め、指導力の向上を目指しつつ、加配教員の配置や支援員の確保に今後とも努めていく必要がある。日常的にチーム学校で対応する風土づくりを教育委員会として今後も支援していきたいと考えている。

【社会教育部門の評価結果の分析】

(1) 「生涯学習」に関して

乳幼児から高齢者までの各種生涯学習事業を実施し「3. 13」の評価となっている。

学校と地域の協働教育の推進については、「3. 50」の評価となり、「元氣わくやふれあい町づくり事業」の実施や、小学校における新型コロナウイルス感

染症対策のための消毒・清掃ボランティアによる活動が評価につながったと考える。

また、生涯学習施設の計画的な改修と有効活用について、「3以下」の評価となったのは、老朽化した施設の改修が進んでいないことが低評価につながったものとする。今後は、「涌谷町社会教育施設長寿命化計画」に基づき進めていく。

(2) 「社会教育」に関して

大人の趣味講座、講座及び講演会等を、新型コロナウイルス感染症により開催そのものが危ぶまれたが、対策を講じながら開催したことで、全体として「3.43」の評価となっている。

今後も各事業の目的をとらえ、工夫して活動を継続して行くことが必要と考える。

(3) 「青少年の健全育成」に関して

青少年のための涌谷町民会議の意見発表は、新型コロナウイルス感染症の流行により中止としたものの、意見作文の全戸配布を行った。ジュニア・リーダーの育成については、令和4年度をもって高校生が卒業となることから、小学校高学年以上を対象としたイン・リーダー研修を開催し、会員確保に努めた。成人年齢が20才から18歳に引き下げられたことから、成人式の名称を「二十歳を祝う会」に変更し開催したことで、全体として「3.25」の評価を得たものと思われる。

また、伝統行事やまつりなどの地域文化を継承する機会の充実に対して「3以下」の評価となったのは、新型コロナウイルスによりまつり等の中止或いは開催規模縮小等により発表機会の減少したためと思われる。アフターコロナに向け発表機会の充実を図ることが必要と考える。

(4) 「芸術文化」に関して

全体として、「3.12」の評価となっている。涌谷・簗岳公民館やくがね創庫を拠点施設として、団体やサークルの活動が行われている。新型コロナウイルス感染症の流行により、町民文化祭の開催が危ぶまれたが、規模を縮小し開催したことが評価に繋がったものと思われる。芸術文化協会加盟団体数が微増傾向にあることから、今後、充実を図るうえで長期的観点から団体の育成を図る必要が

ある。また、史料館等の文化施設の有効活用の項目で「3以下」の評価となった。委員からの意見として「追戸横穴歴史公園の有効な活用が見えない」との意見が附されたことが要因と考えられる。今後、同公園の有効活用の検討が必要である。

(5) 「歴史文化」に関して

全体として「3.38」の評価となっている。文化財保存活用地域計画の策定や日本遺産関連事業の充実を図ったことが評価につながったものとする。今後は文化財保存活用地域計画に基づき文化財の保存・活用の推進に努めていきたい。今後は、高校や大学などの教育機関との連携を図り活用を進めるとともに、郷土芸能の保存・維持も図っていく必要がある。

(6) 「スポーツ施設の整備充実」に関して

全体として「3以下」の評価となった。老朽化した施設・備品の更新が進んでいないことへの評価であると考えている。体育施設については、老朽化により整備充実が求められていることから「涌谷町社会教育施設長寿命化計画」に基づき整備を進めていく必要がある。

(7) 「スポーツ活動等の推進」に関して

スポーツ関係団体やスポーツ少年団への支援や、老人クラブの体力づくり事業への支援及びニュースポーツの地域へ出前講座を開催したことから、全体として「3.13」の評価となっている。また、「3以下」の評価となっているのは、「総合型地域スポーツクラブの推進」の項である。令和4年度末現在、4種目で活動しているが、種目数の増加が停滞していることから低評価となったものと考えている。今後は、ニーズを捉え種目数の増加を図る必要がある。

3 まとめと今後の課題

【学校教育部門】では幼・小中共に、重点施策の全てにわたって評定の平均値は[3]以上の評価であり《満足できる》状態となっている。

しかし、各項目の中に、少数ながら「C」のあまり満足できないとする評価もあることから、今後は細部への配慮や要望にも対応出来るよう努めるとともに、全ての学校及び教職員が問題を認識し取り組むことによって「B」以上の評価と

なるよう努力を望むものであり、また、今後とも教育環境の整備に努めていく。

【社会教育部門】では、主な評価項目全てにおいて、概ね平均値〔3〕以上の評価であり、「満足できる」状態となっている。平均値〔3〕以下の評価については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、発表機会の減少により評価が低くなったことや、老朽化した施設の整備が進んでいないことが要因と思われる。

今後も事業ごとに多様化するニーズを的確に把握すると共に、変化する状況に柔軟に対応しながら、事業の見直しや改善及び企画力の向上に努めていく。

令和4年度 涌谷町学校教育部門の重点施策に関する評価について 【保・幼先生方】

(上段) A: 4点/B: 3点/C: 2点/D: 1点 (下段) 人数

重点 施策	番 号	評 価 項 目	評 定				平均
			A	B	C	D	
園 経 営 1 創 意 と 活 力 に 満 ち た 特 色 あ る	①	園児や園の実態、保護者や地域の意見・要望等を踏まえ、園としての教育の目標が適切に設定されていますか。	88	21	0	0	3.76
			22	7	0	0	
	②	園評価（自己評価・外部評価等）を生かし、園長の園経営方針に沿って、具体的な到達目標や努力点を明確に向けた教育活動に努めましたか。	52	48	0	0	3.45
			13	16	0	0	
	③	家庭や地域に開かれた特色ある教育活動の展開 地域のよさや子どもの実態を踏まえた教育活動に努めましたか。	40	57	0	0	3.34
			10	19	0	0	
	④	教育要領・保育指針の趣旨を踏まえ、指導の手法を工夫したり、積極的に保育研究や保育公開に努めましたか。	48	51	0	0	3.41
			12	17	0	0	
	⑤	幼児・児童生徒による幼稚園・こども園・小・中学校間の交流活動は行われましたか。	36	48	6	0	3.21
			9	16	3	0	
研 修 の 充 実 2 指 導 力 向 上 の た め の	①	教育委員会が主催する各種研修会、地教委研修（法定研修、各種主任研修、転入教員研修等）など指導力を高めるための研修への参加については、目的意識や課題意識を持って臨みましたか。	40	45	0	0	3.40
			10	15	0	0	
	②	各園における各種研修は計画的に進められ、参考図書を読んだり実技研修を行うなど、自己研鑽に取り組み、指導力の向上・充実に努めましたか。	32	63	0	0	3.28
			8	21	0	0	
	③	保育・学習過程や学習形態、指導体制等を工夫し、教師間の協力体制や個別支援等が進められましたか。	48	51	0	0	3.41
			12	17	0	0	
	④	町幼研の研究主題を活用した研修に取り組みましたか。	24	39	0	0	3.32
			6	13	0	0	
健 体 力 ・ 安 全 教 育 の 推 進 3 健 体 力 ・ 安 全 教 育 の 推 進 と	①	望ましい食習慣や食に関する指導に努めましたか。	52	45	0	0	3.46
			13	15	0	0	
	②	肥満傾向（中等度・高度）の幼児の減少を目指す指導や啓発を行いましたか。	24	60	2	0	3.19
			6	20	1	0	
	③	調和のとれた心身の発達を促す遊びの推進とともに、体力の向上を目指す取組について継続的な指導や実践、啓発を行いましたか。	40	51	0	0	3.37
			10	17	0	0	
	④	健康・安全に関する管理や指導の充実を図るとともに、各種お便り等を活用した広報活動を推進し、事故等の未然防止に努めましたか。	76	30	0	0	3.66
			19	10	0	0	
	⑤	遊具や設備の安全点検を定期的に行い、事故防止に努めましたか。	76	27	0	0	3.68
			19	9	0	0	
	⑥	園の防災組織を活用し、防災意識を高め、訓練や指導が行われるなど危機管理の充実が図られていますか。	84	24	0	0	3.72
			21	8	0	0	

重点 施策	番 号	評 価 項 目	評 定				平均
			A	B	C	D	
学 4 ぶ 幼 土 児 台 教 作 育 り の 推 充 進 実	①	幼児理解を進め、一人一人の発育状況や適性に合わせ、それを発揮できるようにするための工夫や努力がなされていますか。	44	51	2	0	3.34
			11	17	1	0	
	②	家庭教育学級や子育て相談活動の推進・充実が図られましたか。	20	69	2	0	3.14
			5	23	1	0	
	③	地域の自然や文化財、伝統行事などの教育的資源が活用されていますか。	28	66	0	0	3.24
			7	22	0	0	
	④	幼保一元化に伴う幼児や教師の交流推進、幼保・小の連携や交流活動の推進と小1プロブレム解消のための基本的生活習慣確立に向けた指導が図られましたか。	24	63	0	0	3.22
			6	21	0	0	
5 特 別 推 支 進 援 教 育 の	①	特別な配慮を要する幼児の支援に関して、保護者と連携を図りながら支援の実践に努めましたか。	40	27	0	0	3.53
			10	9	0	0	
	②	特別支援コーディネーター（特別支援担当者）との連携協力による指導の充実や医療、福祉等の関係機関との連携が図られていますか。	40	30	0	0	3.50
			10	10	0	0	
	③	特別な配慮を要する幼児について、個に応じた支援体制が整備され、個別理解や個別支援計画の作成と指導の工夫が図られていますか。	32	33	0	0	3.42
			8	11	0	0	
備考	※ CやDと評定した場合の問題点及び改善策等について (のの幼) 3－⑤ ・ 安全点検が確実に行われていないことがある。安全点検簿を全職員が確認できる定位置におき、担当職員同士連携を図りながら確実に実施しなければならない。						
	(さくらんぼ) 1－⑤ ・ コロナ禍ということもあり、幼小の子どもたちが直接交流する機会をもつことができなかった。直接小学校に足を運び、小学校生活への期待とイメージを膨らませられることが望ましいが、直接の交流が難しいなどの交流方法（動画・手紙のやり取り）ができたのはよかった。 ・ 担任を持っていないので具体的な指導の工夫ができなかった。園全体指導として今後工夫していこうと思う。 ・ 新型コロナ感染状況に対応しての結果ではあるが、幼児が児童との交流や一日入学などの体験がないまま就学することが残念であり、不安を抱く幼児もいるのではないかと感じる。感染症対策を講じながら、できるだけ体験ができるように検討していけたらと思う。						
	3－② ・ 個人面談で、家庭での食生活等を知ることができたが、もっと以前から家庭での習慣などについて学級だよりや懇談会の中で取り上げているとよかったと感じた。						
	3－③ ・ 十分な動的活動の時間をもったり、継続したりすることが不十分だった。活動の段取りや時間の使い方を工夫し、十分に体を動かしていけるようにするとよい。						

令和4年度 涌谷町学校教育部門の重点施策に関する評価について 【小・中先生方用】

(上段) A: 4点/B: 3点/C: 2点/D: 1点 (下段) 人数

重点 施策	番 号	評 価 項 目	評 定				平均
			A	B	C	D	
特色ある学校経営	①	児童生徒や学校の実態、保護者や地域の意見・要望等を踏まえ、学校としての教育の目標が適切に設定されていますか。	156	90	0	0	3.57
			39	30	0	0	
	②	学校評価（「自己評価・学校関係者評価等」）を生かし、校長の学校経営方針に沿って、具体的な到達目標や努力点を明確にした教育活動に努めましたか。	140	102	0	0	3.51
			35	34	0	0	
	③	家庭や地域に開かれた教育活動の展開 地域のよさや児童生徒の実態を踏まえた教育活動の展開に努めてきましたか。	104	129	0	0	3.38
			26	43	0	0	
	④	学習指導要領の趣旨を踏まえ、指導の手法を工夫したり、積極的に授業研究や授業公開に努めましたか。	124	111	2	0	3.43
			31	37	1	0	
	⑤	幼児・児童生徒による幼稚園・こども園・小・中学校間の交流活動は行われましたか。	72	123	4	3	3.16
			18	41	2	3	
研修の充実	①	教育委員会が主催する各種研修会、地教委研修（法定研修、各種主任研修、転入教員研修）など指導力を高めるための研修への参加については、目的意識や課題意識を持って臨みましたか。	112	108	2	0	3.42
			28	36	1	0	
	②	学習過程や学習形態、指導体制等工夫し、個別指導やグループ別指導、習熟度に応じた指導など、個に応じた指導の展開や基礎的基本的内容の定着を目指した学習への取組みが行われましたか。	96	135	0	0	3.35
			24	45	0	0	
	③	教材研究や授業の準備等に熱心に取り組み、分かる授業づくりを通して児童生徒の自ら学ぶ意欲の高揚に努めてきましたか。	112	123	0	0	3.41
			28	41	0	0	
	④	説明、板書、発問など、教員の授業の実施方法、視聴覚教材や教育機器などの教材、教具の活用が行われましたか。	128	111	0	0	3.46
			32	37	0	0	
	⑤	全国学力学習状況調査の結果を授業づくりに生かしましたか。	40	144	8	0	3.10
			10	48	4	0	
た志教育の推進	①	人間関係の大切さを理解させ、集団や組織の中で、よりよい関係を築く力や地域の奉仕活動、地域を担う意識を高めるなど社会性を養うための「人とのかかわる」指導に努めましたか。	88	135	4	0	3.29
			22	45	2	0	
	②	将来の職業と学習との関わりを理解させ、小・中・高と連携して学習や体験活動に取り組ませるなど、よりよい生き方を求め、主体的な進路選択ができるようにする指導は行われましたか。	80	129	4	1	3.24
			20	43	2	1	
	③	集団や組織の中で自分の果たすべき役割を認識させ、社会の一員としての役割や責任をはたす指導に努めましたか。	112	114	0	0	3.42
			28	38	0	0	
基礎学力の伸長と活用	①	児童生徒の実態把握、教材研究、授業の準備等の徹底など、学習指導における準備は適切に行われましたか。	108	120	4	0	3.36
			27	40	2	0	
	②	基礎的・基本的な知識や技能の取得の徹底を目指し、一人一人の学習が成り立つ授業の推進に取り組みましたか。	84	126	0	0	3.33
			21	42	0	0	
	③	学習過程や学習形態等の工夫により、問題や課題に対して自ら考え解決しようとする指導の充実に積極的に努め、学力向上に向けた指導の実践は行われましたか。	100	126	2	0	3.35
			25	42	1	0	
	④	学校での学習内容と家庭学習とを結ぶ学習サイクルの確立を目指す指導に取り組み、家庭での学習習慣の確立や学習の充実にに向けた指導は行われましたか。	72	147	4	0	3.23
			18	49	2	0	
	⑤	少人数指導や学習形態等の工夫、学習過程の工夫による個に応じた指導の充実など、教科指導の工夫と向上に努めてきましたか。	92	132	2	0	3.32
			23	44	1	0	

重点 施策	番 号	評 価 項 目	評 定				平均
			A	B	C	D	
5 感 性 豊 か で た く ま し い 心 を 育 て る 生 徒 指 導 の 推 進	①	生徒指導に関する会議や研修会において、スクールカウンセラーの活用や全職員の共通理解・共通行動による指導に努めてきましたか。	124	102	4	0	3.43
			31	34	2	0	
	②	学校不適応児童生徒の解消や未然防止に向けた「個に応じた適応指導」が行われましたか。	108	114	6	0	3.35
			27	38	3	0	
	③	小・中の円滑な接続のため、小・中間の情報交換や教師及び児童生徒の交流、生徒指導担当者会等の活動を積極的に行いましたか。	60	144	4	0	3.20
			15	48	2	0	
	④	学校間、学校との関係機関・PTA等との連携を生かした活動が行われましたか。	60	147	2	2	3.15
			15	49	1	2	
6 健 康 ・ 安 全 教 育 の 推 進	①	「食」を含め、健康・安全に関する管理や指導の充実を図るとともに、事故等の未然防止に努めてきましたか。	120	114	0	0	3.44
			30	38	0	0	
	②	肥満傾向の幼児・児童・生徒の減少を目指す指導や啓発を行いましたか。	32	156	12	1	3.00
			8	52	6	1	
	③	体力向上を目指す取組について継続的な指導や実践、啓発を行いましたか。	72	132	12	0	3.18
			18	44	6	0	
	④	通学時の安全確保に向けた活動に取り組み、事故防止のために活動や啓発を行いましたか。	156	90	0	0	3.57
			39	30	0	0	
	⑤	学校の防災計画を活用し、訓練や指導を積極的行いましたか。	152	93	0	0	3.55
			38	31	0	0	
	⑥	学校の防災組織を活用し、防災意識を高め、防災教育と危機管理の充実が図られていますか。	116	120	0	0	3.42
			29	40	0	0	
教 育 特 別 推 進 援 7 育 特 別 推 進 援	①	特別な配慮を要する児童・生徒の支援に関して、保護者と連携を図りながら支援の実践に努めていますか。	132	102	0	0	3.49
			33	34	0	0	
	②	特別な配慮を要する児童・生徒について、個に応じた支援体制が整備され、個別理解や個別支援計画の作成と指導の工夫が図られていますか。	108	111	6	0	3.36
			27	37	3	0	
備考	※ CやDと評定した場合の問題点及び改善策等について (涌谷第一小) 1－⑤ ・ 幼小中の連携について➡小6から中1への引継における資料作り（中学校からの依頼）が遅い。また制服などの情報等は小学校に伝えてほしい。経験（6年生）してる職員だけが知っている状況を変えたい。 3－② ・ コロナによる活動の停止、変更があったため、評価できないもの、評価が低いものがあった。 5－④ ・ 学校間の情報交換をもっとした方がよいと思います。 ・ 通信表、出席簿などの電子化など町内一斉になっていない。 6－② ・ 加圧限向についての把握をまだ行っていない。長男指導にも関係するようで、より天恵指導したい。 6－③ ・ 体力向上への取組は出来ていないと思います。 ・ 年間を通しての取り組みはやってないです。 ・ 遊具がもっと増えるといいなあと思います。						

(月将館小) 6－① ・ 児童のけがが続いてしまう時期があった。児童への注意喚起と避難訓練等での振り返りの場面を大切にした。 6－② ・ 肥満傾向の児童が少ないこともあるが、健康面を考慮するとなわとびや持久走など継続的な運動の推奨が大切だと思う。本校ではなわとびはカード等を活用して取り組んでいる。
(簗岳白山小) 2－② ・ 指導者数に余裕がなく、習熟度別指導まで至っていない。 2－⑤ ・ まずは基礎力を付けること。教科書の内容を理解させることに重きをおくと、そこまで手を回す時間が取れなかった。隙間時間等を捻出し、取り組ませていきたい。 4－④ ・ 連絡帳や面談で学習習慣について共通理解を図ったり、約束事を決めたりしたが、改善が見られなかった。 6－② ・ 対象児童への具体的な指導対策が行われていない。
(涌谷中) 1－⑤ ・ 幼～中の交流はほぼされていないため。 ・ 時数や新型コロナウイルス感染症などのこともあり、あまり活発ではなかったように思います。しかし、小学生が一日体験入学？部活動体験などの際は、中学生が積極的に小学生と関わっていたので、その点はよかったと思います。 ・ 小学校との集団下校を行う。 ・ 中学生の行事を見せる。➡中1ギャップの未然防止。 5－④ ・ 担当不在で活動が止まっていたPTAがあった。（広報）職員の状況を互いに把握し、協力していくべきだと思いました。 6－③ ・ 学校全体を通して、体力向上の取組がされていたように感じなかった。部活動や授業を連携させながら体力向上を目指せればと思う。 7－① ・ 自分のクラスにも特別な配慮を必要としている生徒がいる。そのため、今後、生徒の状況や学校での学習の様子を細かく情報交換できるようにしたいと考えている。

【社会教育委員】教育の点検及び評価表(R4)

Ⅱ 社会教育

(上段)A:4点/B:3点/C:2点/D:1点 (下段)人数

重点施策	主 な 実 施 事 業	評 価				平均 評価
		A	B	C	D	
1 生涯学習	乳幼児から高齢者までの生涯学習体系の確立が図られていますか。	4 1	21 7	0 0	0 0	3.13
	学校と地域の協働教育の推進のため、放課後子供教室の充実や学校支援事業など学校と地域の協働活動の推進が図られていますか。	16 4	12 4	0 0	0 0	3.50
	生涯学習施設の計画的な改修と有効活用がされていますか。	4 1	12 4	6 3	0 0	2.75
	乳幼児や小学生低学年を対象とした読書活動の推進を行っていましたか。	12 3	12 4	2 1	0 0	3.25
	子どもや若者を対象として体験・交流イベント学習機会などの充実が図られていますか。	0 0	21 7	0 0	0 0	3.00
	生涯学習に取り組む団体やサークルの活動を支援していましたか。	8 2	18 6	0 0	0 0	3.25
2 社会教育	講座等を開催し、社会教育の推進に努めましたか。	20 5	9 3	0 0	0 0	3.63
	町民自らが積極的に社会活動に参加できるよう学習活動の場を拡充し、内容の充実を図っていましたか。	12 3	12 4	2 1	0 0	3.25
3 青少年の 健全育成	伝統行事やまつりなどの地域文化を継承する機会の充実が図られていますか。	8 2	9 3	6 3	0 0	2.88
	「青少年のための涌谷町民会議」の充実が図られていますか。	4 1	21 7	0 0	0 0	3.13
	イン・リーダー、ジュニア・リーダーの育成はされていますか。	8 2	12 4	4 2	0 0	3.00
	二十歳を祝う会など、青少年の自立を促す事業の支援を行いましたか。	20 5	9 3	0 0	0 0	3.63
4 芸術文化	住民の主体的な文化活動の促進と交流や情報交換や機会づくりの促進が図られていますか。	4 1	21 7	0 0	0 0	3.13
	芸術文化協会などの関係団体の育成が図られていますか。	8 2	18 6	0 0	0 0	3.25
	史料館・天平ろまん館・くがね創庫・追戸横穴歴史公園の有効活用が行われていましたか。	8 2	9 3	6 3	0 0	2.88
	町民が文化や芸術にふれる機会の充実に努めていましたか。	16 4	9 3	2 1	0 0	3.38
5 歴史文化	「文化財保存活用地域計画」等、文化財の保存活用に関する計画推進に務めていましたか。	16 4	12 4	0 0	0 0	3.50
	文化財の保存や維持が適切に図られていますか。(郷土芸能を含む)	12 3	12 4	2 1	0 0	3.25
	学校や社会教育行事等と連携し、次世代や地域の人材育成に努めていましたか。	12 3	9 3	4 2	0 0	3.13
	日本遺産による地域活性化や文化財公開を図り、文化財の活用を推進していましたか。	20 5	9 3	0 0	0 0	3.63
6 スポーツ 施設の整備 充実	スポーツ施設の計画的な維持更新と整備を行っていますか。	4 1	15 5	4 2	0 0	2.88
	既存体育施設の備品の充実を図られていますか。	4 1	15 5	4 2	0 0	2.88
7 スポーツ 活動等の推 進	スポーツ関係団体やスポーツ少年団への支援を行っていますか。	8 2	18 6	0 0	0 0	3.25
	総合型地域スポーツクラブの推進は図られていましたか。	4 1	15 5	4 2	0 0	2.88
	地域スポーツ事業、高齢者スポーツ大会などへの支援が図られていますか。	4 1	21 7	0 0	0 0	3.13
	シニア世代における健康・体力づくりの充実を図られていますか。	8 2	18 6	0 0	0 0	3.25
備 考	・その年代の活動等は行われていると思いますが、継続的(地域の特性など)に涌谷町ならではの生涯学習が点から線につながれ、どの年代も今を大事に活動ができたと思います。 ・「コロナ禍」からの回復途上の段階だったため仕方が無い部分も多かった。 ・涌谷球場のスコアボードを改修すべき ・追戸横穴歴史公園の有効的な活用が見えない					